



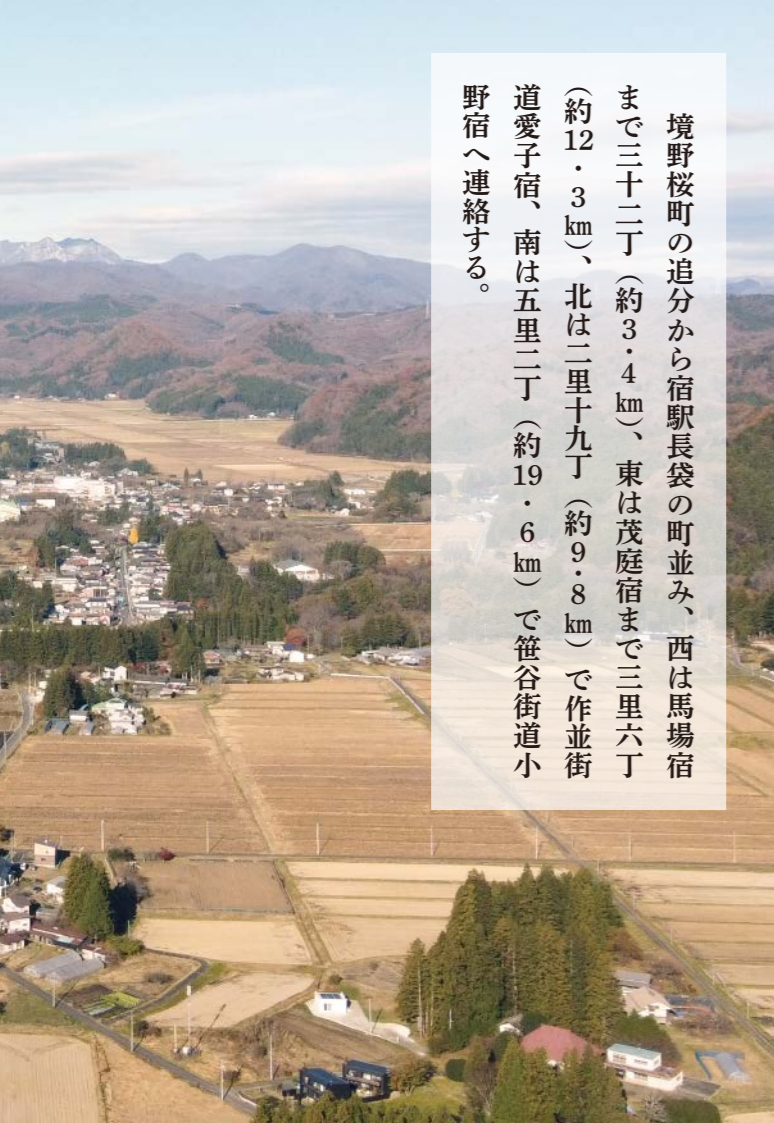
二口越え最上街道（二口街道）は山寺立石寺を開基した慈覚大師円仁が開いた道ともいわれる。仙台と山形を最短距離でつなぐ街道にもかかわらず一部を除いて整備されたことはなく、一里塚も平坦部にはあったが並木などはなかった。これは二口峠頂上が九百メートルを越える高峻地で傾斜が急であり、さらに近世には仙台城から最上方面への西口にあたることから、道路の整備は藩の意向として行われなかったようである。そのため時代に取り残され往古の佇まいを今に残している。

秋保郷を東西に貫くこの街道に、長袋・馬場・野尻の宿駅があり、並行する笹谷街道と関山街道を結ぶ脇街道の追分と、街道の道しるべ石があり、嘗ては人馬の往来で賑やかであったことがしのばれる。

秋保

二口越え最上街道 秋保郷の追分と道しるべ石

宿駅の長袋から向宿の追分を経て西に延びる二口街道の馬場宿、西の野尻宿まで一里三十五丁（約7.6km）、東の長袋宿まで三十二丁（約3.4km）、北へ分岐する芋生峠を越えて三里十一丁で新川村に達する。



境野桜町の追分から宿駅長袋の町並み、西は馬場宿まで三十二丁（約3.4km）、東は茂庭宿まで三里六丁（約12.3km）、北は二里十九丁（約9.8km）で作並街道愛子宿、南は五里二丁（約19.6km）で笹谷街道小野宿へ連絡する。

秋保

二口越え最上街道 秋保郷の追分と道しるべ石

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所まちづくり推進課（022-399-2111）
秋保市民センター（022-399-2316）

仙台市から奥羽山脈を越えて山形市を結ぶ
北の「関山越え」と南の「二口越え」
二口越えのたたずまいが残る秋保郷
街道の追分と道しるべ石を巡り
行き来した古の旅を偲ぶ



二口街道(二口越え最上街道) 秋保郷の追分と道しるべ石

二口街道(二口越え最上街道)は長町宿から出発して秋保郷を東西に貫き奥羽山脈二口峠で二手に分かれ、それぞれ山寺村と高野村を
通って合流し山形へ向かった。

寛政六年の宿場御定に、「本道長町より出羽高野村迄」として長町宿・鉤取・茂庭(北赤石宿までは笹谷街道と一緒に)・長袋・馬場・野
尻・出羽領高野村・道法合拾式里三拾三丁三十七間(約50.2km)とある。慈覚大師円仁が開いた道ともいわれるが、二口街道の歴史は
古く、多賀国府から秋保温泉へ至る道として平安時代には存在していたものと思われる。

秋保郷内には二口街道と並行する関山街道と笹谷街道の宿駅を繋ぐ脇街道が存在し、この追分と道しるべ石が多く残り往時が偲ばれる。
なお、関山隧道開通前の関山峠は難所であったため、仙台山形間の通行は愛子宿や白沢から板風峠・大雲寺峠を介して二口街道を利用し
ていたようで、江戸時代の旅日記などにその記録がある。



秋保全体図

9 折葉の追分
関山街道の白澤から大雲寺峠を越えて二口街道馬場宿へ向かう折葉の山神尊で、右はば道・左はゆもとみち、側面には長袋より川崎道と刻まれている。



8 愛子板風の追分
関山街道愛子の道祖神近くに移設された供養塔。もとは関山街道から板風峠へと分かれる追分にあつた石塔で、右はさかの下通・左はふたぐち通と刻まれている。



1 北赤石の追分
(笹谷街道と二口街道の道標) 道しるべ石は移設されたようであるが、南赤石への渡しはこの付近、道標には湯元江二十五丁、碁石江二里二十丁と刻まれている。



7 二口の追分
二口という名の由来の道しるべ石で、右は山寺道・左はかうやとと刻まれている。右は山伏峠を経て山寺へ、左は清水峠を経て高瀬への道となる。この追分の手前には街道を隔てた二軒の境目守番所屋敷があり、旅人は検閲を受ける必要があった。



二口街道のうち最も国境近くにある宿駅足軽集落野尻の町並み、ここには藩政時代に野尻番所が置かれ他の宿駅と異なり家並みが街道を監視するように配置されている。



6 馬場田尻の追分
東側だけに古道の痕跡が残る田尻の追分で、供養塔を兼ねた道標も上部が欠けているが、右は森安大瀧道・左はもかみ海道と刻まれている。



3 境野野尻の追分
二口街道と板風峠を介して関山街道への道標、この金剛山碑には、右は二口道、左はゆ元道と刻まれている。(碑の向きが逆になっている。)



2 観橋袂の道標
観橋の架けかえに伴い対岸に移設されたもの。庚申供養塔に右は二口道、左は湯道と刻まれている。



4 境野桜町の追分
二口街道の要所で板風峠を介して関山街道と、国久・本砂金を通って笹谷街道への追分である。12基の石塔が確認でき、右端の供養塔には「右は二口通」と刻まれている。街道の辻の面影を残している。



5 長袋向宿の追分
馬場宿の東側入口にあり、大雲寺峠を介して白沢方面へ向かう追分。道標には白澤江一里十丁・湯元江二里十丁と刻まれている。関山トンネルが開通するまでは、関山街道と二口街道を繋ぐ大雲寺峠道が重要な脇街道であった。

